

【パン企画】園児の描いた絵が本物のパンに！



幼稚園児の絵を基に作ったパン 浜松市東区で

園児の絵 本物のパンに

ドラッグストアチェーンの杏林堂薬局（浜松市中区）は、市内の幼稚園児が考案したパンを商品化し、県内の10店舗で28日まで販売している。親子で食べたいパンを考えてもらおうと昨年、市内の幼稚園にパンの絵を募集した。

商品は、干しぶどうやパイナップルが乗った「フルーツピザパン」（129円）とチョコレートでキャラクターの口や目を表したメロンパン「にこにこひまわり

杏林堂で28日まで販売

パン」（162円）。それぞれ鴨江幼稚園の平野瑞希ちゃん（6歳）と湖東幼稚園の高塚来那ちゃん（5歳）が考えた。

杏林堂とL Pガス販売のエネジ（中区）の共同企画。応募のあった603点の中から2人の絵を優秀賞に選んだ。（木造康博）

販売店舗は次の通り。姫街道、新津（中区）和田（東区）新居、新所原駅南（湖西市）吉田（吉田町）袋井下山梨（袋井市）浜岡（御前崎市）藤枝清里（藤枝市）富士厚原（富士市）



杏林堂薬局様とタッグを組み、県内の幼稚園やこども園の幼児を対象に「みんなが食べたいパン」の絵を募集し、ついに実現し販売開始です！
応募作品603点の中から実現した2作品「にこにこひまわりパン」と「フルーツピザパン」は、杏林堂薬局内の手作りパン工房ナチュールで販売されています！
自分が描いた絵がパンになる体験が食育にもつながり、子育て世帯にも好評！今後も地域の企業と地域が元気になる取り組みを継続していきます！

令和3年(2021年)2月7日(日)

中日新聞掲載